

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	人格の尊厳 礼節と尊敬 安全で安心した暮らし 自己研鑽 4つの運営理念の基、誠心誠意支援させていただいている。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、及び職員各自が、運営理念を念頭に置きながら、業務を行なっている。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	運営理念はホームの玄関とホーム内に掲示しており、来訪者にはその都度説明を行なっている。又、ホーム便りを、ご家族や運営推進会議の参加者にお渡ししており、来訪者にも閲覧して頂いている。		運営推進会議等を通じて、地域の方が気軽に来訪出来る様に努めていきたい。
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域の方の見学や、地域の学生や保育園児の慰問を受け入れ、日々利用者がどのように生活されているかを理解してもらう機会としている。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣の小学校の文化祭や、地域の夏祭り等に招待をいただき、参加させていただいている。		今後も地域活動には積極的に参加していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域運営推進会議や、地域の行事に参加させていただいた際に情報交換を行なう機会を作っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全体で、周知徹底を図り、評価を生かした取り組みを行なう事で、その年度に於けるホームの目標に繋げている。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	改善への取り組み状況など、その都度報告を行ない、委員の方の意見も参考にしながら、より良いホーム作りに活かしている。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の主催する研修会等には積極的に参加している。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	自治会で行われる勉強会や、研修等に積極的に参加し、学んでいる。ご家族にも十分説明している。(現在 該当者なし)		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束についての資料を常備しており、職員一同周知をはかっている。又、市が行なう講習会に数名の職員が定期的に参加している。		職員ミーティングや、資料の回覧などで周知徹底を図っていききたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の際は重要事項の説明と共に、利用者、ご家族の要望や疑問点を聞く機会を設けている。解約に際しても、話し合いのもと、十分に納得を得られるようにしている。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ホーム内に意見箱を設置しており、苦情相談受付窓口の案内も掲示している。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月入居者の状態の記録と金銭出納帳のコピーをご家族に送付している。又、面会時や電話等で随時報告を行っている。職員の異動に関しては、家族懇談会で報告、紹介を行っている。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情受付窓口責任者、第3者委員会等を設け、連絡先(電話番号)と共に文書にて明示している。家族会など意見交換の場を設けている。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員の意見がすぐに反映出来るように、週1回の週例ミーティング、ユニットごとの月1回のミーティング、2ユニット合同の月例ミーティングの場で話し合いを行ったり、提案ノートを活用したりしている。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>1、2F職員が協力しあいながら勤務の調整を臨機応変に行っている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>特別な事由がない限り、職員の異動は行わない様にしている。</p> <p>退職者については、極力慰留に努めている。</p>		
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。</p> <p>また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>募集・採用にあたっては、すべて平等に取り組んでいる。</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>運営理念を基に教育を行っている。</p>		
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修について職員の積極的参加を促し、研修の機会を与えている。法人内研修についても、各ミーティングやその他の機会に勉強会などを行っている。</p>		
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>相互訪問等を行い、サービスの質の向上に努めている。</p>		<p>今後、グループホーム協議会への加入・他法人との交流を行っていきたい。</p>
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員旅行や親睦会・共同の環境整備作業を通じて融和団結を図っている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>個人評価制度を設け、各職階級別に評価責任者の評価を十分に加味し努力が報いられるようにしている。</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>				
25	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居前は本人と面談する機会を作り、主訴・要望を聞き取り、ホームで生活していく上で必要なアセスメントを取っている。入居後も日常生活の中で様々なお話をすることで不安解消に努めている。</p>		
26	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>相談時には十分に話を聞いてホームの見学と説明は十分に行うように努めている。入居されてからの要望や対応方針も定期的に話し合うようにしている。</p>		
27	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人と家族の主訴を十分に把握し、必要としているサービスを勧奨し、柔軟に対応している。</p>		
28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>体験入所などの機会を設け、本人がホームの雰囲気に馴染めるような工夫を行っている。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>				
29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者1人ひとりの特技や趣味などを活かしながら、役割を可能な限り持っていただき、それぞれのかたから、生活を送る上で昔ながらの知恵を教えて頂いている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族と連絡を密に行い、問題を共有する事で、家族の協力を得ながら解決に向けた努力を行っている。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	年2回の家族懇談会の他、ドライブ行事など、ご家族に参加を呼びかけ、交流できる機会を十分に設けている。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や電話連絡など可能な限り調整しながら行っている。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係に配慮しながら、行事、レクリエーション等で利用者同士が楽しく関わり合える場を設けている。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	已むを得ず契約が終了する場合は、今後の対応方針も含め相談している。必要に応じて、その方に合ったサービス(施設等も含む)を紹介させて頂いている。		
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃からコミュニケーションを取るなかで、本人の思いや意向を聞き取り、ご家族の意見も参考にしながら、一人ひとりの力に応じて、可能な限り本人本位の希望を取り入れ支援している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族と情報交換を密に行い把握に努めている。以前他のサービスを利用されていた方についてはその事業所より情報を頂いている。		
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日常の中での様子観察や会話を持つ事でアセスメントを取り把握している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、ご家族の希望・要望を踏まえた上で、より良いホーム生活に繋がる介護計画を作成出来るように努めている。		
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月ごとに計画を見直しのほか、状態が著しく変化した場合、本人、ご家族、主治医などと相談して、その都度新たな計画を作成している。		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者一人ひとりの状態の変化はこまめに記録しており、申し送りノートにて職員間で情報を共用して、実践や介護計画の見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の身体状況に応じ、併設のデイサービスのリフト浴を提供したり、外出時に車椅子用の車輛を借りたりして対応を行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	毎月1回ボランティアの方が来訪されセラピーを通じて入居者の皆様と交流されている。民生委員の方は運営推進会議に出席して頂いている。警察、消防とは避難訓練を通じて関わっている。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	状態に応じて、必要なサービスの事業所職員と連絡を取る等して支援している。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	入居に関する問い合わせや相談を通じて情報交換をしている。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的に、入居前にかかられていた医療機関に通院していただいている。新たに受診の際も、本人、ご家族の希望に添って支援している。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医より助言を受けられる体制が出来ており、受診の時などホームでの様子を伝え、適切なアドバイスをいただいている。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	必要に応じて協力病院や同敷地内のデイの看護師に相談し、入居者の健康管理を支援している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>定期的に入院先に訪問し、主治医・家族と連絡を取ると共に、本人と面会して、早期に退院出来るように努め、退院後安心して生活が出来るように受け入れ体制を整えている。</p>		
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化や終末期が考えられる入居者に対して、家族の今後の考えを聞き、主治医の意見も参考にしながら方針を決めている。必要に応じて他施設の紹介も行っている。</p>		
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>利用者・家族・医師等と話し合って決めた方針に基づき、連絡を取り合いながら支援している。</p>		
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>関係者と十分な情報交換を行い、入退居時の不安解消に努めている。なるべく使い慣れた馴染みの物を配置して、住み替えによるダメージを少なくする様努めている。</p>		
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員全員に運営理念を理解させ、特に入居者の尊厳と人格の尊重に配慮して、礼節を欠く事の無いよう細心の注意を払って対応している。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>普段本人とコミュニケーションを取る上で、何気ない会話の中から、思いや、希望を汲み取るように努めている。</p>		
54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者一人ひとりのペースに合わせた介護に努めており、個別でのゆっくりとした時間を大切に支援を行っている。</p>		<p>居室でゆっくり過ごされている時間帯も、さりげなく中の様子を見守りながら安全配慮に努めている。</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>必要に応じて支援を行っている。理容・美容は本人の行きつけや希望の店を考慮し、個別で対応できない場合はご家族に付き添いの協力を得ている。</p>		
56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居者と職員と一緒に食事し、準備や後片付け等出来る範囲で一緒に行い楽しく行える様声掛け、雰囲気作りにも努めている。</p>		
57	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>嗜好品については過度にならない様に、量や頻度を調整しながら、一人ひとり支援を行っている。(チェック表にて確認している。)</p>		
58	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>介助が必要な方に関しては、排泄チェック表を記入して排泄間隔を把握して、必要に応じてトイレの声掛けを行ないながら対応している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入居者一人ひとりに合わせた入浴介助を行い、安全に出来ている。気持ちよく入浴して頂ける様に、声掛けのタイミングや仕方を工夫して行っている。</p>	<p>冬の時期は風邪予防の為、状態をみながら概ね1日置の入浴を入居者、ご家族に了解を得て行っている。</p>
60	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの状態に応じて安眠や休息が出来る様に、環境、雰囲気作りに努めている。普段はリビングや居室で休息されている。</p>	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>入居者一人ひとりの、時間を大切にしている。居室で静かに手芸をされる方や、書き物をされる方、リビングでおしゃべりを楽しまれる方、外に出るのが好きな方には、散歩や買い物にお連れしたりと、それぞれに楽しみごとに提供できるように努めている。</p>	
62	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自己管理出来ない方には、金銭出納帳を記録して職員が管理し、月末に家族の確認印を頂いている。買い物の際は出来るだけ本人にお金を使って頂ける様付き添い支援している。</p>	
63	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天気の良い日は希望者は外へ散歩にお連れしたり、ドライブを実施し、季節の花見や買い物、近隣の飲食店へ外食など楽しんで頂いている。</p>	<p>個別の外出希望に関しては、御家族の協力を得て対応している。今後も出来る限り希望に添うように努めていきたい。</p>
64	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>毎月、入居者より、行ってみたい所や食べたい物のアンケートを取り、ドライブや外食行事に反映させている。家族にも毎月の行事計画を送付し、参加を呼び掛けている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自由に利用できる様に配慮し、電話使用の制限はしていない。入居者個々の力に応じ、必要であれば介助を行っている。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に訪問出来る良い雰囲気作りを心掛けている。ゲストルームを利用しての宿泊も出来るようになっている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての資料を常備しており、職員一同で周知を図り、身体拘束をしないケアを目指している。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	フロア内と玄関は日中は鍵を掛けず、常に見守りを行うように努めている。フロア入口の扉にはベルを設置しており、出入りが把握できるようにしている。下(1F)へ降りられようとする方については、さりげなく付き添うようにしている。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	フロア内では常に入居者の所在を把握出来る位置で見守りを行い、居室で過ごされている際も定期的に訪室し、様子を把握している。(夜間は2時間置きに巡回を行っている。)		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	必要なものは問わずフロアに設置し、安全に配慮しながら貸し出している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアルを作成しており全職員に周知徹底を図っている。事故報告書、ヒヤリハットを記録し職員間で共有し再発防止に努めている。		
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時の症状別のマニュアルを作成し、万全な状態で備えており、職員の目に付く場所に置いている。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、定期的に訓練を行っている。入居者も参加しての消防、避難訓練は年に2回実施しており、そのうち1回は地域の消防署立ち会いのもと行なっている。		ご家族で近隣の方に緊急時に連絡が行く通報システムに登録しており、ご協力を頂いている。他のご家族や近隣の住人の方達には今後参加を呼び掛けていきたい。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	面会時や毎月送付している「介護計画・実施と評価」で、こまめに状態の報告をし、意見を伺いながら対応している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェックを行い、変化があれば医師との連絡を密に取り、適切な対応を行っている。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者一人ひとりに薬を手渡し確実な服用の徹底と管理に努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	適度な運動や水分補給、服薬による調節、医療機関からの助言も取り入れている。		
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に合わせて口腔ケアの声掛けや付き添い介助を行っている。医師の指導にそって、義歯による痛みがある方には、夜間必要に応じて義歯を預かる等、支援させて頂いている。		朝食後はゆっくりとしていただく事を優先しており、介助が必要な方は昼・夕食後の2回行っている
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事のカロリーは栄養士が計画している。その他の個別の摂取量・水分補給など、状態に応じて支援している。		糖尿や高血圧など一人ひとりの疾病に合わせて、塩分を控えめにしたり、調理法を変えたりしている。(かかりつけ医に相談しながら行っている。)
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対策は医師との連携を保っている。マニュアルを作成し職員間で周知徹底に努めると共に、講習会などにも積極的に参加している。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	その日使用する食材は栄養士によって、鮮度・品質・異物混入・温度チェックを行っている。食器類などは定期的に消毒をし、又、職員全員が月1回の病原性腸内細菌検査を受けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	建物の周囲に季節の花や野菜を育てるなどして、家庭的な雰囲気作りに努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者や職員の手作り品や季節に応じた飾りを避難通路をさけて飾り付け、季節を感じていただくと共に、家庭的になるよう十分配慮している。		
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやじゅうたんを共用のリビングに設け、自由に座って頂き交流できる空間を作っている。皆で楽しめるようカルタやトランプなどの遊戯道具も準備している。ホーム便り、アルバム、雑誌も各種配置しており、自由に閲覧できるようにしている。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	慣れ親しんだ家具や仏壇の持ち込みを奨め、安心して生活出来る環境作りに努めている。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	定期的に点検を行うとともに、臨機応変にこまめに換気している。(居室掃除の時など)		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	高齢者に対応・配慮した設備になっており、個別に状態にあわせた手摺りなどを設置している。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	その人の居室と本人が分かるように、貼り紙を扉に掲示したり、なじみの物を飾ったりして工夫している。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	環境整備を行い花壇や菜園を設け、入居者が自由に散策できるようにしている。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者の皆様が安心してゆっくり出来る環境作りを常に心掛けております。特に利用者ひとり一人の個別の時間を重視したサービス提供を行ないながら、今後も利用者主体の明るく居心地の良いグループホームを目指して行きたいと思っております。